

半田市 報道機関提供資料

蔵出し情報

問合わせ

0569-26-4888
新美南吉記念館
館長 遠山光嗣

令和5年3月31日提供（事前情報・事後情報）

名 称	紙芝居「狐」上演会と南吉祭
日 時	令和5年4月8日（土） 14:00～15:00
場 所	新美南吉記念館 図書室
主催者	新美南吉記念館 TEL0569（26）4888
対 象	どなたでも
趣 旨 （目的）	北海道で紙芝居の制作や上演を行う「不思議の庫無本工房」が、南吉の童話「狐」を題材に紙芝居を制作しました。「狐」は、南吉のふるさとである岩滑の春祭りを舞台にした作品で、今回、春祭りが行われる日に合わせて、工房のメンバーが来館し、記念館で「狐」の紙芝居を上演することになりました。
内 容	「狐」（絵・高田弘子）と「鳥右卫門諸国をめぐる」（絵・山田芽里）の2作の南吉童話紙芝居を上演予定。「狐」の作画を担当した高田さんも来館し、紙芝居制作時の話をして下さることになっています。 （記念館での上演は2018年に続いて2回目です）
担当者 情熱メッセージ	童話「狐」は南吉最晩年の作品です。南吉の理想の母親像を書いた作品として知られますが、作品の前半部分には、岩滑で長年行われていた春祭りの宵宮の様子が描かれているほか、南吉の継母が営んでいた下駄屋をモデルにしたと思われる店も登場します。 今回、「不思議の庫無本工房」の皆さんが紙芝居を上演する4月8日は、岩滑八幡社で春祭りが行われ、夜（17:30～）は閉館後の南吉記念館駐車場で「南吉祭」が開催されます。童話「狐」の中に登場する巫女舞のほか、夜店や打ち上げ花火などもあります。
別 紙	「不思議の庫無本工房」に関する資料
写 真	紙芝居「狐」（一部抜粋）

半田市企画課企画広報担当

0569-84-0605



【紙芝居「狐」から／絵・高田弘子】

